

| | |
|--------------------|--|
| <p>ふりがな 氏名</p> | <p>たちばな えつこ 立花 江津子 (工芸)</p> |
| <p>功績概要</p> | <p>昭和54年 半どんの会文化賞 及川記念奨励賞 昭和54年 東京日本橋三越本店にて個展 昭和58年 姫路市文化奨励賞 昭和61年 グランプリ・サロンインターナショナル、ベルギー（シャルルロワ） 平成2年 姫路地方文化団体連絡協議会 姫路文化賞 平成12年 姫路市芸術文化賞 令和5年 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科環境人間学専攻修士課程修了 姫路市立美術館展覧会「春の祭典」においてステインドグラス作品の常設展示認定</p> <p>代表作 「パルナソス」（パルナソスホール）、「芸術の曙」（姫路市美術館）、「昇天」（姫路カトリック教会）、「悠久」（姫路商工会議所）、「海のみえる街」（三井住友銀行姫路支店）、「花の幻想」（JR西日本トワイライトエクスプレス）、「聖書物語」（神戸松蔭女子学院大学、令和7年度より神戸松蔭大学）、「物語る窓」（名古屋・金城学院大学） など</p> <p>現在 日本ガラス工芸協会会員、姫路地方文化国際交流団体＜Entre-Nous＞代表</p> <p>ベルギー・ゲント市セント・ルーカス・インスティテュート（現ルカ芸術大学）で作家としての研修、併せて伝統的工房で技術を修得し、以来50年近くにわたって世界的に活躍。国内の学校、美術館等に数多くの作品を残し、姫路市内でもパルナソスホールや姫路市立美術館など多くの場所からステインドグラスが持つ光と影が織りなす壮麗な輝きを届けている。</p> <p>またキリスト教への深い理解から、姫路カトリック教会をはじめとする全国の教会にも作品を残し、聖書の教えを反映することができる国内有数の作家として活躍を続ける。</p> <p>近年ではステインドグラスの創作活動と研究、ジャンルを超え世界を異にするアーティストたちとのコラボレーションを通して新しい可能性を追求し、また、姫路市の審議会等への委員として都市における景観づくりやまちづくり、文化のあり方などについても提言を行っているほか、歌舞伎や浄瑠璃にも造詣が深く、創作浄瑠璃の脚本やステインドグラスを用いた舞台公演なども実施している。</p> <p>光と対峙・対話を行いながらガラスを通して光の輝きのすばらしさを追求し続け、姫路から世界へステインドグラス芸術を発信し続けるその功績は多大である。</p> |